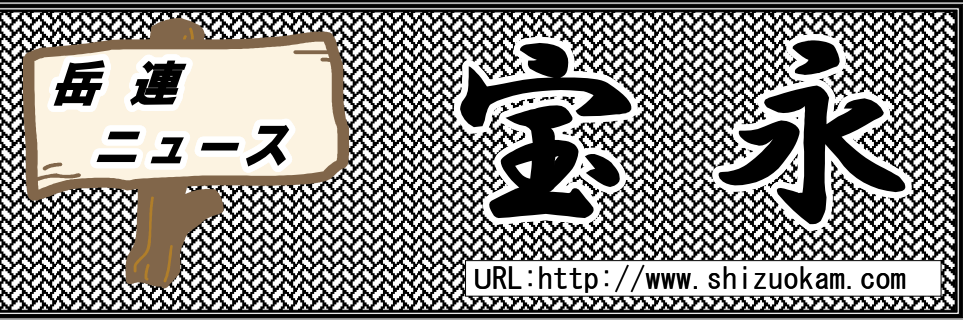




静岡県山岳連盟
〒420-8076
静岡市駿河区八幡3-1-17
TEL(FAX) 054-288-7512
編集発行/総務委員会
平成29年6月12日発行
第21号

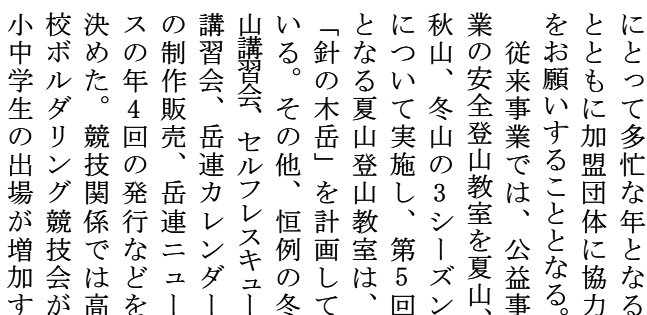


平成29年度の通常総会を4月22日、静岡市の「あざれあ」で開催した。滝田会長から、今年度は岳連創立70周年にあたり記念事業等を実施していきたい。スポーツフェスを記念事業に位置付けて実施し、祝賀会・講演会を年明けに予定し、記念誌を60周年以降をまとめた形で発行できたらと考えている。安全登山講習会を公益事業として実施しているが、会員の皆様から一般の方に声掛けをしてほしい。秋に中高年安全登山指導者講習会が

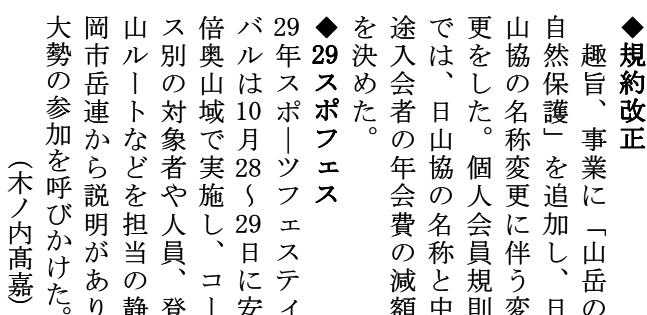
平成29年度の通常総会を4月22日、静岡市の「あざれあ」で開催した。滝田会長から、今年度は岳連創立70周年にあたり記念事業等を実施していきたい。スポーツフェスを記念事業に位置付けて実施し、祝賀会・講演会を年明けに予定し、記念誌を60周年以降をまとめた形で発行できたらと考えている。安全登山講習会を公益事業として実施しているが、会員の皆様から一般の方に声掛けをしてほしい。秋に中高年安全登山指導者講習会が



平成29年度の通常総会を4月22日、静岡市の「あざれあ」で開催した。滝田会長から、今年度は岳連創立70周年にあたり記念事業等を実施していきたい。スポーツフェスを記念事業に位置付けて実施し、祝賀会・講演会を年明けに予定し、記念誌を60周年以降をまとめた形で発行できたらと考えている。安全登山講習会を公益事業として実施しているが、会員の皆様から一般の方に声掛けをしてほしい。秋に中高年安全登山指導者講習会が



平成29年度の通常総会を4月22日、静岡市の「あざれあ」で開催した。滝田会長から、今年度は岳連創立70周年にあたり記念事業等を実施していきたい。スポーツフェスを記念事業に位置付けて実施し、祝賀会・講演会を年明けに予定し、記念誌を60周年以降をまとめた形で発行できたらと考えている。安全登山講習会を公益事業として実施しているが、会員の皆様から一般の方に声掛けをしてほしい。秋に中高年安全登山指導者講習会が



平成29年度の通常総会を4月22日、静岡市の「あざれあ」で開催した。滝田会長から、今年度は岳連創立70周年にあたり記念事業等を実施していきたい。スポーツフェスを記念事業に位置付けて実施し、祝賀会・講演会を年明けに予定し、記念誌を60周年以降をまとめた形で発行できたらと考えている。安全登山講習会を公益事業として実施しているが、会員の皆様から一般の方に声掛けをしてほしい。秋に中高年安全登山指導者講習会が

29年度事業計画を承認

通常総会を開催 ビッグ行事が目白押し

静岡岳連の担当で実施するので参加していただきたい。と主要事業を紹介し、総会では皆様の忌憚のない意見を出していただき充実した総会にしたいと挨拶があった。

この後、議長に前川副会長を選出し、議事に入った。

◆平成28年度事業報告

28年度の実業報告では、全体の報告と各委員会の報告があり、予定した事業はほぼ順調に消化できたが青少年少女登山教室は、参加者が少数のため中止に至った。遭対事業のセルフレスキュー研修会は今年初めて、西湖付近の岩場で実施し、実践的充実した内容で好評を得た。又、山の日制定を記念して、県内山岳4団体で記念講演会・写真展を実施し、大勢の参加者と素晴らしい山の写真が展示された。秋には県内3地区(東中西)で記念ハイキングを実施し、紅

葉の山を楽しむことができ、併せて、山の日の意義と周知の一翼を担うことができた。

◆平成28年度決算報告
次年度の繰越しが前年度とほぼ同じとなり、実収入で総支出を賄うことができた。収入は未収分担当もあるが4月には入金され、11名の個人会員会費が入り、カレンダー売り上げや登山講習会収

◆平成29年度事業計画

今年、70周年を迎え、記念事業、記念講演会、祝賀会、記念誌の発行などが検討され、事業計画の主要部となっている。又、全国規模の事業として、9月に中高年安全登山指導者講習会を静岡が主管で開催し、7月の東海ブロック大会は当番県として大会を実施し、6月には東海ブロック正副会長理事長会議が予定されるなど、今年はビッグな行事が目白押しで岳連にとっても多忙な年となる。とともに加盟団体に協力をお願いすることとなる。

◆規約改正
趣旨、事業に「山岳の自然保護」を追加し、日山協の名称変更に伴う変更をした。個人会員規則では、日山協の名称と中途入会者の年会費の減額を決めた。

◆29スポーツフェス

29年スポーツフェスティバルは10月28、29日に安倍奥山域で実施し、コース別の対象者や人員、登山ルートなどを担当の静岡市岳連から説明があり大勢の参加を呼びかけた。

(木ノ内高嘉)

3月常任理事会

日時 平成29年3月13日(月) 18時30分～20時30分
場所 労政会館 5F
会議室
出席者 滝田博之、清水雄三、前川朝夫、木ノ内高嘉、出利葉義次、小田直美、諸戸明、豊田稔高橋弘、工藤誠志、大石一博、松永義夫、増田浩二、市川隆夫、浅井徹、内海廣治、田中保広坂田昇(文責) 計18名
欠席 堀内修、鈴木修伊藤正道、鈴木重幸、内山一彦
内容
会長挨拶
①平成28年度の事業も無事終了、協力ありがとうございました。
②スポーツフェスティバルも困難も多いが協力して継続を願う。
③今日は総会(平成29年度)の準備をお願いします。
④岳連の個人会員の件も宜しく願います。
(1)報告事項
①指導委員会
・指導員研修会、1月29

日に、34名参加で実施した。
・第56回冬山講習会、2月4、5日に、71名参加(初級5中級4名、高体連62名、指導者10名)
・他、配布資料で報告。
(工藤)
②国体委員会
・県高校ボルドーリング競技大会2月11日に実施、小6生が高校生を抑え優勝。(諸戸)
・小・中学生の参加が多くなった為、来年からは名称変更を考えている。
・高校生以外の募集もある為、岳連のホームページ利用など一般の応募をし易くしたい。
③日山協全国理事長会議
・昨年12月までの事業報告及び来年度の方針説明があった。
・山の日の国民祝日として施行、スポーツクライミングが20年東京オリンピック大会の正式種目となった。
・協会の名称変更を機に山岳とスポーツクライミングのバランスを取りながら、各事業を推進する中で、より登山部門の充実を図っていきたい。

(木ノ内)
④海外委員会
・海外登山研究の隊員募集を説明「高みへのステップアップ」の資料で説明。
・ロシアアルタイ山脈ペルーハ峰(4千506m)
・中国新疆(パミール高原)コングールIV峰の紹介。
(2)平成29年度スポーツフェスティバル
・日程 平成29年10月28(土)・29日(日)
・参加費用 未設定
・場所 安倍奥の「山伏」牛首峠を中心に①牛首峠、山伏コース、②牛首峠、笹山コースの2コースを考えている。3年前に一度検討したコース。ルートのとしては、西日影沢から牛首峠に上る新しいルートを考えている。
・ルートは一部整備が必要ですが、今回の大会を契機に一般に利用される様期待する。
・当地域を管理している「森林管理局」との関連も調整を要するが、当案で推進する。
・安全性の確保等の為、事前にコース整備・調査を行う。又事故対応も想定しておく。

(3)平成29年度 通常総会(配布資料を検討)
①通常総会 4月22日(土) 13時30分「あざれあ」で実施、今回は役員改選無し。(木ノ内)
・H28年度事業報告
指導・国体・遭対・海外各委員会の実施時期、参加人員の確認、修正。
・H29年度事業計画 指導・国体・遭対・海外各委員会の計画内容の確認、修正。
②H29年度事業計画について(滝田)
・県岳連の創立70周年の行事は、コンパクトな事業としたい。
・60周年以降の10年の歩みをまとめた記念誌を発行したい。
(4)その他 (滝田)
・個人会員の規則に関し、名称変更に伴う変更。
・静岡マウンテン フェスティバル山岳写真展
・山の日の記念行事 講演会などは他の団体と協議して進める、登山の行事は継続する。
・4月10日の常任理事会は通常総会の手順など決めた。

(坂田昇)
③平成29年度事業計画について
①指導委員会(小田)
・夏山教室「針木岳に登ろう」正式なパンフは総会で配布。
②当日の役割分担、当

4月常任理事会

日の集合時間の確認。
②会議参加者全員で会議資料に目を通し細部の訂正、加筆を行った。
③総会の議事に規約の改正を加える。
・日山協の組織、名称の変更に伴い、規約と整合性を持たせる。
・自然保護に関わる部分に変更を加える。
・個人会員について、入会の時期により年会費に差をつける。
④28年度決算報告、29年度予算案の確認。事業で赤字が生じた場合は予備費で補填することを確認。
5. スポーツフェスティバルについて(松永)
①29年度の担当は静岡、山の日の記念山行を兼ねる。
②30年度の担当は西部であることを確認。
6. 栃木県高体連登山部春山安全登山講習会における雪崩事故について(清水)
①静岡県においても、高体連登山部として積雪期登山のあり方を再検討していかなければならない。県山岳連盟にも協力願いたい。(清水雄三)

第72回国体県予選会

オープン選手の活躍顕著

本年度の愛媛国体の予選会が39名の参加を得て、5月3日にリードを浜松スクエア、ボルダリングをB・S・P・O・Tで行われました。

本年度は、本大会が8月に行われる「JOCジュニアオリンピックカップ」の選考会にもなっているため、国体年齢に達していない5名のユース選手も参加した。

リードの少年男子では、メイン壁の傾斜の強い部分を超え、終了点に迫ったのが、4名で最上部の遠いホールドは取れずにフォール。時間計測で順



その後、B・S・P・O・Tに移動して行われたボルダリング競技は4分間オンサイト、4課題のベルトコンベアー方式で行われた。少年男子は中学3年の片桐君が、全4課題4撃で1位、原君が4課題5撃で続いた。少年女子では片木さんが4完登で完全優勝、続いて3完登の中里さん、横田さんが続いた。最後の成年男子の課題は3完登3撃の鈴木さんが高い保持力で1位、続いて3完登8撃で田邊さんが続いて、最後を盛り上げることができた。

セッターをお願いし当日も競技が終わるまで見届けていただいた、愛知県の大山さんおよび滝浪さんから、コメントをいただいて閉会した。毎年会場を提供していただいているスクエアさんB・S・P・O・Tさんには大変感謝申し上げます。

次の上位2名の方が、東海ブロック大会(成年男子は本国体)に駒を進めることになりました。年々東海ブロックの突破が難しくなっていますが、1つでも多くの種別で国体本大会に進めることを願っています。

【成年男子】
1位 田邊匡律 2位 鈴木正信

【少年男子】



1位 原 賢伸 2位 片桐綾真
【少年女子】
1位 横田はるな 2位 佐伯周音
(諸戸明)

クライミング総会

29年度スポーツクライミング部委員総会兼研修会が4月2日、岸記念体育館で開催された。

20東京五輪の正式種目決定や協会名の変更、定款改訂などに伴い組織の改編を行ったと副会長の挨拶があった。

報告

27年度より、3プロジェクトに「アンチドローピング研修会」を参加者全員に実施した。

・31年度茨城国体より「スポーツクライミング競技」に改称する。

・C級ルートセッター合格者(静岡・杉原1名)

・C級審判合格者(静岡・馬淵、伊藤、岩田、内山、鈴木 5名)

・7月のシンガポール大会にてユースAのみオリピックフォーマットで行う。スピード・ボルダー・

・オリピックの動向
東海地区 30年(福井)成女1、少男2、少女1、31年(茨城)成女1、少男2、少女1
(諸戸明)

南ア春山相談所

南アルプスの春山相談所が、4月28日から5月7日までの10日間、沼平の指導センターで開設された。

県遭対協からの要請により、県岳連から指導員を派遣した。また、警察の山岳救助隊員もその間常駐し、登山者の相談、指導及び天候や雪の状態などの情報提供を行い、安全登山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者は、計114パーティで、茶臼岳・光岳方面が61パーティ、聖岳方面が32パーティ、赤石岳方面が11パーティ、その他が10パーティで、前半が少なく後半は多く、全体では昨年より多かった。

今年の積雪は例年より多かった。天候は29日とたのみだった。雪が多いため引き返してきた単独の数パーティがあったが、晴天の日が多かったので

事故はなく、少し遅れて下山したパーティがあっただけだった。近年の傾向だが、単独の登山者が増えており安全登山に心がけてほしい。
(滝田博之)



高校総体登山競技

女子富士高二連覇 男子藤枝東優勝

今年度の高校総体登山競技は県東部の愛鷹山系を会場として5月27日、28日に実施された。

男子18校、女子8校が、全国大会、東海大会への出場権を目指し熱い戦いを繰り広げた。

27日は桃沢野外活動センターにて開会式、筆記試験が行われた。その後1日目の登山行動として水神社を経由し森林公園駐車場までを競った。幕営地の桃沢野外活動センターに戻った後、装備、設営、炊事、天気図の審査が行われた。

翌28日の登山行動は本年度からの新しいコースで行われた。愛鷹山と馬場平のコルから稜線に上がり、馬場平、袴腰岳、一服峠を経由し、位牌岳手前からブナ平へ下るコースである。これまでと比べると、かなり長くハードな設定であるが、2日間とも天候に恵まれ、適度に風もあり、歩きやす

い気象条件であったため、1つのリタイアチームもなく無事競技を終了することができた。

男子は藤枝東が富士宮西を総合得点で僅かにかわし3年ぶり7回目の優勝。女子は富士が昨年の初優勝に続き連覇を果たした。両校は夏に山形県の蔵王、月山で行われる全国大会に出場する。男子2位の富士宮西、3位の富士、女子2位の藤枝東、3位の富士宮西が6月に三重県で行われる東海大会へ出場する。

富士、富士宮西、藤枝東の3校が男女ともに全国あるいは東海の出場権獲得という結果になった。今年度も、非常にレベルの高い戦いとなった。

上位大会への出場権を得た学校の活躍を期待したい。入賞した学校は以下の通りである。(男子は6位まで、女子は4位までが入賞)

【男子団体】
1位 藤枝東 2位 富士宮西 3位 富士
4位 浜松日体 5位 富士東 6位 韮山
【女子団体】
1位 富士 2位 藤枝東 3位 富士宮西 4位 韮山
(清水雄三)

	順位	学校名	得点
男子団体	1位	藤枝東	97.8
	2位	富士宮西	96.3
	3位	富士	93.6
	4位	浜松日体	89.7
	5位	富士東	88.2
	6位	韮山	88.2
	7位	清水東	86.2
	8位	日大三島	85.5
	9位	静岡	76.8
	10位	浜松北	76.4
	11位	市立沼津	73.5
	12位	沼津工業	69.4
女子団体	1位	富士	98.3
	2位	藤枝東	96.4
	3位	富士宮西	91.7
	4位	韮山	85.5
	5位	静岡	83.7
	6位	浜松北	82.1
	7位	清水東	78.7

山岳会紹介

創立は昭和34年7月4日、当時、湖西では最大の企業、富士紡績鷺津工場の渡辺さんが中心となる同好会があり、私たちの会は湖西連峰ハイキングコースの開発中で合流の話があり発足した。「宝永」の原稿の依頼があり思い出を伝えることにしました。

第17回県民スポーツ祭を西部ブロックで、湖西連峰を会場に開催し、鷺津小学校で開会、本興寺まで市中パレード、昼食にはウナギのかば焼きのサービス、バスで登山口に、神石山―多米峠と北上し、一泊コースは一旦、知波田小へ下山、体育館へ泊り、又大知波峠―富士見岩―中山峠から三ヶ日小へ下り閉会式。婦人会のお茶の接待を受け、そして、乗船場までパレードした後、浜

湖西山の会

豊田 稔

名湖東部の庄内白菜や石垣などの石材を運ぶ「ダンベ船」で2日間の縦走の山並みを湖上から眺めながら鷺津駅近くの港で終了した。

昭和39年の東京オリンピックの3年前から富士山の清掃活動が始まり、自衛隊のトラックで3合目へ。鉄製のゴミ籠を担当の8合目小屋まで背負い、重かつたことを思い出す。活動はその後も続き、会員と同行した方は一度登りたいと思っていたと喜ばれた。

この頃、市体育協会へ山岳部として加盟して、登山教室を富士山、妙高山、志賀高原横手山、

